



松雲書道会総会・新年会

圓山翠蘭

2025年1月26日（日）割烹一樂に於いて松雲書道会総会・新年会が開催されました。鉛色の空が日常風景の新潟ですが、「天下無敵の晴れ男＝菅井先生」のお陰で東京の冬さながらの抜けるような青空に恵まれました。会場では昨年一年間の活動報告と会計報告、そして今年の活動計画が理事より発表されました。B4の紙面にびっちり書かれた活動報告。改めて「スゴいな～」と感じてしまいます。何故ならその項目ひとつひとつに綿密な準備や途中経過があり一人あたりの添削枚数×人数分。先生の御苦勞たるや、お察し致します。皆さん、もう充分気が付いていらっしゃると思いますが、先生は私達に分かり易い言葉を選んで、尚且つ「家に帰ると、すぐ忘れるろ?!」を想定して添削時にメモも記入して下さいます。今から20年くらい前、水上の錬成会（玄和本部主催の錬成会）で「K先生」に添削して頂いた経験のある私。その先生が的確なご指導をしてくださっているのは（ニュアンスで）伝わってくるのですが、コメントが少なすぎて尚且つ小声で聞き取れなかった事がありました。それに引き替え、菅井先生はもの凄い丁寧なんですよ（他会の先生を知ると我が身の置かれている状況のありがたさを痛感します）

総会に引き続き少しの休憩をはさみ、新年会が始まりました。冒頭に会長よりご挨拶を頂き、第45回記念墨雲展のお話がありました。そうなんです！皆さん今年は**大イベント**があるんですよ！**松雲書道会第45回記念**

墨雲展が県民会館で開催されます。既に会長は昨年より作品制作に取り掛かっていらっしゃいます。（私達はこれからですけど、、、）先生の大作を間近で見られるチャンスです！記念展のお話から雅号授与式、師範・準師範表彰式へと移り、雅号を頂いた金子秀光さんの「生まれ変わったつもりで頑張ります」の挨拶がとても印象的でした。どの世界の人でも然り、金子さんのように前向きな姿勢の方は輝いて見えるし雰囲気も明るくしてくれるものですね、見渡してみると自然と皆さんの顔にも笑みがこぼれていました。

宴が進み福引大会が始まりました。先程まで歓談を楽しんでいた60名近い来場者の視線がくじを引く花梨先生の手元に「全集中！」今回は会長の御厚意により惜しくも選にもれた人の為のWチャンス景品も用意して頂きました。ご配慮ありがとうございます。いつにも増して盛り上がった福引大会だったと思います（福引司会者談）

前述にもふれましたが、今年は**松雲書道会第45回記念墨雲展**です。祝賀会は新津よりちょっと都会の新潟駅前「東映ホテル」をおさえていらっしゃるとの事。菅井先生のご指導のもと、各々が目標をもってよりパワーアップした作品を出品し記念展を成功させましょう！私は祝賀会で司会をする（予定）ですので今から龍角散タブレットを舐めて、喉の調子を整えております。皆さん奮って祝賀会にご参加ください。



第29回 松雲書道会選抜書花展を終えて

中村秀月

令和7年3月6日(木)～9日(日)の4日間、新潟県民会館1F展示コーナーに於いて第29回松雲書道会選抜「書花展」が開催されました。会長、副会長をはじめとする選抜会員30名に加え、生け花では池坊の小野蒼峰先生、飯野美秀先生、小原流の田村瑞祥先生、清水尚芳先生の賛助作品による華やかな作品が展示され、書と生け花の美しい空間をご来場の皆様に楽しんで頂けたと思います。生活に密着した家に飾って楽しめる作品をテーマに半切から色紙サイズまでの小作品を近代詩、行草書、仮名、篆書など多種多様な作風で各々書き上げ額装軸装に仕上げた展示でした。毎年のことながら表装が素晴らしく菅井会長が表具をお願いする際、それぞれ作品のイメージに合わせて額のマットや軸装を細かく指示をして頂きモダンで洒落た作品に仕上がっておりました。会長のセンスと細やかさには驚くばかりです。改めて感謝申し上げます。

会場中央に展示された菅井会長の2対の軸作品は、どちらも白の余白を活かした「余白の美」と言える作品で上品な温かみが会場を包みこんでいました。また、菅井花梨副会長の作品は仮名の色紙作品でした。色紙掛けには刺繍が施され高級感漂う素敵な軸で、中央に掛けられた色紙は優雅で気品が溢れていました。

毎回違った素材やテーマで書くサブ作品のお題は「凧」です。好きな言葉を直接、凧に書きましたが展示した作品を見ると、それぞれ個性が出ていて見ごたえがありました。「楽しく書くのが一番です」と、菅井会長のお言葉がありました。私にとっては楽しいどころか直接書くという緊張で上手く書けず自分の作品を直視できずにいました。しかしながら、来てくださった方々から毎回違うサブ作品は見ていて楽しいというお言葉を頂きホッとしました。今年も新潟もかなりの大雪でしたが、幸い会期中は天候にも恵まれ大盛況となり良かったと思います。多数のご来場の皆様に感謝いたします。

書道は筆と紙と墨を使って文字と余白のバランスで自分なりの表現をするので個性が出ます。まだまだ自分自身の感性と表現力を磨いていかなければという思いが強くなりました。今後も精進してまいります。

書と生け花の調和で春を感じる展覧会「書花展」は、菅井会長の熱心なご指導とセンス溢れるアイデアで開催されています。菅井会長は準備の時から体調を崩されており、会期中も無理をされていて申し訳ない気持ちです。今後は少しでも先生のご負担を軽減できるよう努力してまいります。

これからもご指導の程よろしく願いいたします。